

標題 | これで楽々！白ねぎ土よせ作業機械化・省力化の実証

(ダイジェスト)

10月4日、邑南町の農事組合法人星ヶ丘、また10月18日には、美郷町生産者の白ねぎ栽培ほ場において、白ねぎの土よせ作業を機械化・省力化する、作業受委託のしくみを検討するため、乗用管理機を用いた土よせ作業の実証を行いました。

県央地域では「おおち農林産物なりわい・うるおい」プロジェクトにおいて、重点推成品目と位置づける、白ねぎの生産振興を進めています。

しかし白ねぎは栽培期間が長いことや、4回の土よせ作業が高齢化に伴い労力的負担となっていることに加えて、新規就農者等の新たな担い手の不足により、出荷量は伸び悩んでいます。

そこで機械化・省力化された土よせ作業受委託のしくみを検討するために、乗用管理機を用いた土よせ作業の有効性を検証する実演会が開催されました。

JAが平成29年度に導入したM社製乗用管理機を用いて、JA職員らがオペレーターとなり、3回目、あるいは4回目の白ねぎ土よせ作業を実践しました。両ほ場とも作業は良好な結果となり、「これは楽にできる」と生産者からは笑顔も出ていました。

今後は乗用管理機に適合する畝幅や転回のための枕地の用意といった、栽培様式の変更を生産者へ周知するとともに、作業受委託のしくみ構築に向けた関係機関の協議・検討を進めることとしています。



乗用型管理機による土よせ風景



左右へしっかり土を巻き上げている